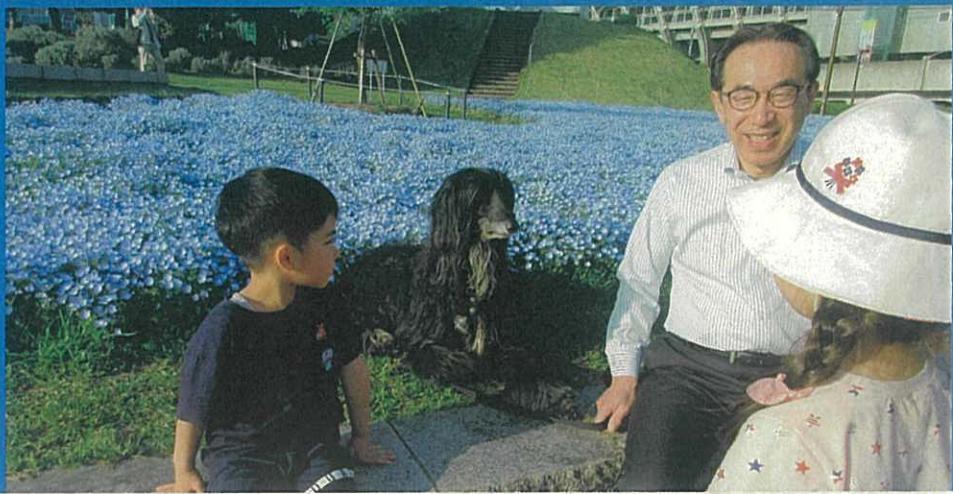


# 斎藤のりお

仙台に活力！泉に全力!!  
子どもたちの輝く未来のために。

皆さま、お元気でしょうか。風と陽ざしが気持ちの良い季節になりました。今回は子どもたちの未来を築く「学びと遊び」と一緒に考えます。皆さまのご意見・ご要望もぜひお寄せください。



## のりお通信

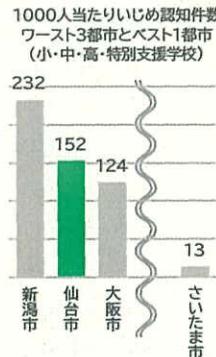
### いじめワースト2の汚名返上を

仙台市は、いじめによる中学生の自死事故が相次いで発生して以降、条例を制定し、教育の取り組みを強化してきました。

しかし、いじめ認知件数は高水準で推移し、令和3年度は政令指定都市20市中、ワースト2でした。不登校や暴力行為も増加の一途です。

問題が発生するたびに、教育委員会が学校に対する指導を強化してきましたが、数字を見る限り事態は一向に改善していません。

学校現場の教育力が低下しているのではないでしょうか。学校の教育力を高めることこそが大切です。そのためには、次のような腰を据えた取り組みが必要です。



- ① 教育現場の雑務を軽減し、教員が本来業務に集中できる体制を作る
- ② スクールソーシャルワーカー、カウンセラーの配置。不登校生徒の学級外教室を拡充する
- ③ 学校管理職を計画的に育成する
- ④ 硬直化している教育委員会組織を活性化する



現場で起きたことは現場で解決できるよう、学校の教育力を高め、負の連鎖を断ち切らなければなりません。

**5月下旬から始まる議会で具体的に質疑してまいります。ご注目ください！**

### 斎藤のりお プロフィール

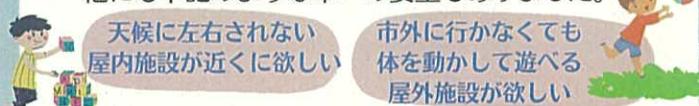
1954年8月生まれ 古川高校・北海道大学卒業 その後宮城県職員として医療分野等に従事 2003年 仙台市議会議員初当選(現在5期目) 仙台市議会会派「せんだい自民党」

### 求められる遊び場の充実

子どもは、遊びながらたくさんことを学び、成長し、心を豊かに育みます。大人は子どもの遊ぶ機会を増やし、行政は遊びの環境を充実することが求められます。

仙台市では、令和2年度に実施した「遊びの環境に関する調査・研究」の中で、保護者へのアンケートを行いました。その結果、約8割の人が「市外の大規模な公園」を利用していると回答。

他にも下記のような市への要望もありました。



しかし、仙台市は令和4年度に「遊びの環境に関する実証実験」を行い、「既存資源の活用」「近隣自治体の遊び場を含めた情報発信」などの方向付けを行いましたが、これでは新たな施設を作らないと言っているも同然です。



仙台市の方向付けは、保護者ニーズとかけ離れたものと言わざるを得ません！

仙台市の児童生徒の体力不足、体力低下が指摘されており、様々な要因が考えられますが、遊び場の不足も大きな要因です。

子ども施策に冷淡な市政であってはいけません。遊び場の充実を含め、子どもたちの健やかな育ちに向け取り組んでまいります。



趣味は家庭菜園



